

令和4年9月定例会行政報告

1. 一般行政報告

- 1) 要望等について
- 2) 寄贈金品について
- 3) 大雨への対応状況について
- 4) 作況状況について
- 5) 令和4年度建設工事の発注状況について

令和4年9月12日

中 標 津 町

貴重な時間をお借り致しまして、6月定例会以後の行政報告を申し上げます。

1. 要望等について

第1点目は、要望等についてであります。

1) 最初に、根室地方総合開発期成会としての要請活動であります。

根室地方の地域づくり・総合開発に関する要望・提言として、地域基幹産業の振興と基盤整備の促進、産業や暮らしを支える社会基盤整備の促進、国土の保全、自然環境の保全・整備と利活用の促進、安全・安心な地域づくりの推進、北方領土問題の解決に向けた関係諸施策の推進、教育・文化施設等の整備促進などの重点要望に関して 釧路・札幌・中央の各段階におきまして要請活動を実施いたしました。

7月8日には、北海道開発局 釧路開発建設部、釧路総合振興局 釧路建設管理部に、7月26日には 北海道、北海道議会及び北海道開発局に、翌27日には 国土交通省、農林水産省など 関係各省庁をはじめ地元選出国會議員に対し、要請を行いました。

併せて釧根トライアングル整備構想 連絡会議として、防災・減災、国土強靱化等の着実な実施と予算確保、国土強靱化事業計画に基づく橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策の推進、人流・物流の活性化に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消、4車線化等とダブルネットワークの構築などについて要請を行いました。

2) 次に、中標津空港利用促進期成会としての要請活動であります。

前段の根室地方総合開発期成会の要請日程にあわせ、7月28日に全日本空輸株式会社 東京本社に対し、「中標津空港の利用促進に関する要望」として、東京線及び新千歳線の路線維持並びに、観光需要回復後の新たな需要確保に向けた新規路線の開設、さらには、地方移住やテレワークの推進などの地方への関心の高まりや、体験型観光の国際イベント「アドベンチャートラベル・ワールドサミット」北海道開催を通じて、当地域の知床世界自然遺産や日本遺産の「鮭の聖地」の物語など、自然・文化・歴史などの地域資源の魅力を世界に広げることで中標津空港の利用価値も高まることから、地域と航空会社の連携により実行される中標津空港利用促進事業の推進について要請を行いました。

3) 次に、雪印メグミルク株式会社本社訪問であります。

前段の根室地方総合開発期成会の要請日程にあわせ、7月28日に雪印メグミルク工場が所在する道内6町の首長で組織する「雪印メグミルク株式会社地域懇談会」として、雪印メグミルク株式会社新社長と面会し、継続的・安定的な生乳受け入れについて要請を行いました。

4) 次に、西銘恒三郎 前内閣特命大臣来町時の要請活動であります。

7月14日に、西銘前大臣が北方領土隣接地域訪問のため来町された際に開催されました「中標津町関係者・元島民等との懇談会」におきまして、平和条約締結交渉の早期再開、隣接地域の振興対策の推進、四島交流事業の実施等について要請致しました。

なお、この懇談会には、議長の出席をいただいております。

5) 次に、医師確保に係る要請活動であります。

7月21日、29日に、北海道大学、札幌医科大学及び旭川医科大学を訪問し、町立中標津病院の現状と診療体制を報告、地域医療が抱える課題等について意見交換を行い、地域センター病院としての役割と地域医療確保を図るため、医師の継続派遣について要請を行いました。

2. 寄贈金品について

次に、2点目は、寄贈金品についてであります。

お手元に配付のとおり、6月定例会後に、

物品で	4 件	
ふるさと納税で	8 7 4 件	1 4, 0 8 2, 0 0 0 円

の寄贈がございました。

寄贈金品を寄せられました方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

3. 大雨への対応状況について

次に、3点目は、大雨への対応状況についてであります。

8月15日から16日にかけて前線を伴った低気圧が北海道を通過

し、そこへ暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になり、16日明け方から雨が降り始め、昼過ぎにかけて大雨となりました。

降り始めからの降水量は、中標津で84ミリ、中標津空港で104ミリ、上標津で108.5ミリを記録、上標津では、日降水量が8月の観測史上2位の値となりました。

町の対応につきましては、大雨警報、洪水警報の発表に伴い情報の収集に努めるとともに、パトロールにより道路等の状況把握に努めたところでございます。

被害状況につきましては、砂利道の路面崩壊、河川の水位上昇、倒木により町道3区間で通行止めを実施したほか、複数か所で路肩破損、路面洗掘等が発生したところでございます。

なお、人的な事故等については、ありませんでした。

4. 作況状況について

次に、4点目は、作況状況についてであります。

根室農業改良普及センター北根室支所が9月6日に公表しました、9月1日現在の各作物の生育状況によりますと、牧草につきましては、草丈は平年並みであり、収穫作業も順調に進んでいるとのことです。

飼料用トウモロコシにつきましては、草丈は平年並みであり、生育は順調であります^{ねぐされびょう}が、根腐病発生^{ねぐされびょう}の可能性があり、発生の程度によっては早期の収穫が必要とのことです。

馬鈴しょにつきましては、生育は平年並みであり、てん菜につきましては、生育は平年より2日遅く、根^{ねまわり}周の肥大がやや緩慢とのことです。今後は、疫病のまん延防止に係る防除体制の徹底が必要とのことであります。

大根とブロッコリーにつきましては、例年7月中旬から10月上旬まで順次収穫を行っておりますが、本年においては、大根、ブロッコリー共に品質は平年並みであり、大根は、出荷量はやや少ない状況がありますが、価格が昨年より高く推移しており、ブロッコリーは、出荷量は平年並みであり価格はやや低い状況となっておりますが、概ね順調と聞いております。

近年の天候は、過去の観測状況が通用しなく、今後も台風をはじめ天候の影響が心配ではありますが、穏やかに豊穰の秋が迎えられることを願っているところです。

次に、生乳の生産状況についてですが、中標津町管内の4月から7月までの累計生乳生産状況では、対前年比104.2%となっており、生乳生産抑制の最中であることから、昨年に比べ0.9ポイントの減で推移しているところです。

農業情勢については、ウクライナ情勢や新型コロナウイルス感染症など、引き続き国内外の情勢を注視しながら、両農協をはじめ、各関係団体と連携しながら対応して参りたいと考えているところでございます。

5. 令和4年度建設工事の発注状況について

次に、5点目の令和4年度建設工事の発注状況についてですが、令和4年8月24日現在でご報告申し上げます。

令和4年度の発注計画は、件数167件、金額にしまして、39億5,272万円ほどであります。

これに対し、発注状況ですが、件数で122件、率にしまして、73%となっております。

金額では、36億7,851万円、率にしまして、93%の発注となっているところであります。

以上、5点についてご報告申し上げ、一般行政報告といたします。